

出雲市新たな観光財源検討委員会について

令和 7 年 3 月に策定した「出雲市観光基本計画」に基づき、安定的かつ持続可能な財源確保の検討を行うため、出雲市新たな観光財源検討委員会を設置し、第 1 回検討委員会を開催しましたので、その概要を報告します。

1. 検討委員会の設置目的

出雲市観光基本計画に掲げる次の 3 点を実現するため、安定的財源確保策の検討を行う。

- ・持続可能な観光地経営と地域経済循環の強化
- ・周遊滞在型・通年型の観光まちづくり
- ・出雲観光協会の機能強化や情報発信、人材確保などの継続的取組

2. 第 1 回出雲市新たな観光財源検討委員会

(1)日時 令和 7 年 7 月 3 0 日（水）13：15～15：15

(2)内容 ○検討委員会の開催概要について

○開催スケジュール

○新たな観光財源の必要性について



（会議資料、議事概要の WEB ページ）

3. 委員

（敬称略、50 音順）

No	区分	委員氏名	所属等
1	委員長	奥谷 健	広島修道大学 法学部長
2	副委員長	高橋 研	出雲市自治会連合会 副会長
3	委 員	飯塚 有依	東横 I N N 出雲市駅前 支配人
4		石飛 成夏	(有)小田温泉 女将
5		坂本 水穂子	(株)出西窯 取締役
6		武志 俊太郎	島根県旅館ホテル生活衛生同業組合 副理事長
7		田邊 達也	(一社) 出雲観光協会 会長
8		中村 真実子	山陰合同銀行 取締役監査等委員
9		福間 正純	出雲市商工団体協議会 会長
10		森山 勲	出雲一畑交通(株) 常務執行役員

4. 主な委員発言

- ・ 宿泊客には観光目的以外（ビジネス等）も多く、制度設計の根拠整理が必要
- ・ 財源目的や使途を明確化し、市民及び事業者の理解を得ることが重要
- ・ ビジネス客も観光消費を行う例が多く、広い視点で宿泊者を捉えるべき
- ・ 他都市との競争や将来の観光需要変動を見据え、先手を打った取組が必要
- ・ 宿泊税以外の手法（駐車場有料化、協力金等）も含め幅広く検討
- ・ 制度設計にあたっては事業者との信頼関係構築が不可欠

5. 今後のスケジュールと主な検討内容（予定）

R 7	9月	第2回（財政需要及び使途、観光財源の選定）
	11月	第3回（制度設計）
R 8	1月	第4回（報告書（素案）検討）
	2月	答申